

市民と市長のふれあいトーク(地域開催) 開催概要

会場 由井市民センター

日時 令和7年(2025年)10月26日(日)
13時30分～15時00分

発言者 11名 参加者 46名

No	参加者発言要旨	市長発言要旨
1	<p>国勢調査の実施にあたり、市からの依頼に基づき町会・自治会が調査員の担い手を探し、一人ひとりお願いをしており、大きな事務負担が生じている。 関連費用について市から町会・自治会に対し支援してほしい。 国勢調査に関する国費は全て調査費用に充てられるが、これを調整することで、市の負担を生じさせずに町会・自治会を支援する方法もあるのではないかな。</p>	<p>調整役を無報酬で担っていただいていることに、改めて気づかされた。 国も、このような状況、仕組みとなっていることを分かっていないのかもしれない。本日いただいた声を、東京都や国に届けられるようにしていきたい。</p>
2	<p>小比企の農業について市が発信していることに感謝する。 八王子は都内で最も農業従事者が多く、特に小比企には多くの後継者も存在する。 小比企を盛り上げるべく、様々な取組をしており、11月30日には山田駅周辺でマルシェを開催する。 八王子を盛り上げるため、市として農業についても取り組んでいただきたい。</p>	<p>農業は八王子の誇るべき産業であると思っている。 学校給食において、食を通して八王子の農業について子どもたちに知ってもらおう取組を行っており、八王子の農業はこんなにごいんだ、ということ子どもたちに分かってもらいたいと思っている。 八王子の一部地域で伝わる伝統食「かてめし」が、文化庁に「100年フード」として認定され、これを学校給食として提供しただけでなく、近隣地域のスーパーでも販売した。 こうした取組を、皆様と一緒に広めていきたい。</p>
3	<p>学校給食が無償化されたことはとても良いことだが、これからは質の問題が大事である。物価高騰で食材費が上がり大変な状態ではないかと思う。特別な予算措置をお願いしたい。 八王子市では、小中学校給食の残さを堆肥化している。各家庭から出る生ごみについても堆肥化し、市内の農家に使ってもらおう取組を行うと良いと思う。</p>	<p>学校給食を無償化したことで、物価高騰による給食食材の値上がり分を各家庭の負担とせず、市側で対応することができた。 指摘いただいた点は日々悩んでいる。財源には限りがある中で、税でどこまで負担するのが適切であるかを考えながら、質を落とさないよう、管理栄養士や調理師が知恵を絞っている。 地球環境にとって負担とならない行政を目指しており、生ごみの資源としての活用に向けて取り組んでいきたいと思う。</p>
4	<p>パラコレクション八王子というイベントに参加したいと思い、イベントの実行委員会に連絡したが、断られた。また、後援名義を出している八王子市や社会福祉協議会に連絡したが、対応してもらえなかった。排除されたような気持ちになった。</p>	<p>東京都在職中、オリンピック・パラリンピック対応の責任者だった際、障害者団体の方からお話を伺いながら業務を進めた経験がある。 お話を伺い、申し訳ない気持ちになった。 いただいた内容は市の中で共有する。</p>
5	<p>パラコレクション八王子は、八王子市や社会福祉協議会、八王子商工会議所などが後援しているが、イベントの中身が時代錯誤である。なぜこれを後援するのか。 組織の問題もあると思う。改善していかなくてはいけない。</p>	<p>東京都在職中、オリンピック・パラリンピック対応の責任者だった際、障害者団体の方からお話を伺いながら業務を進めた経験がある。 お話を伺い、申し訳ない気持ちになった。 いただいた内容は市の中で共有する。</p>
6	<p>小学校のプールを使用するためには、大量の水が必要となるが、少しの期間しか使われていない。 水は無限にあるわけではないので、毎日使用されているスイミングスクールのプールを使った方が良いのではないかな。</p>	<p>大勢の大人の中で、勇気を出して発言してくれたことに感謝する。 教育委員会でも、学校のプールについては問題意識を持っている。 スポーツクラブや大学などの活用ということも考えられる。提案内容は受け止める。</p>

市民と市長のふれあいトーク(地域開催) 開催概要

会場 由井市民センター

日時 令和7年(2025年)10月26日(日)
13時30分～15時00分

発言者 11名 参加者 46名

No	参加者発言要旨	市長発言要旨
7	高尾山で英語のボランティアガイドを行っているが、高尾山は山頂に人が多く、オーバーツーリズムになっていると感じる。以前、昆虫を採取している人を見かけたことがあり、悪い方向にいかなければ良いと思うが、市としてどのように考えているか。	以前開催した市民と市長のふれあいトークにおいても、高尾山で入山料を徴収することによりオーバーツーリズム対策や保護を図るべきという意見をいただいた。自然保護や事故の防止という観点がある一方で、麓の商店や高尾登山鉄道、寺院といった関係者がいる。公共施設再編などにも言えることだが、市民の皆様とお話をさせていただくとともに、関係者のお話を伺いながら決める必要がある。いただいた意見は市の中で共有しながら進める。
8	環境市民会議として、本日の市民センターまつりにブースを出して周知活動を行った。水質調査や大気汚染調査、清掃や保全活動など、幅広い活動を行っているが、メンバーが高齢化しており新しいメンバーが増えない状況である。市として広報等により環境市民会議について周知していただき、若いメンバーに入ってもらいたい。	市のPRが足りないという点は重く受け止める。近年、学校教育の中で、国語や算数などの従来の教育ではない、STEAM教育(各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育)と言われるものが行われている。教育委員会に対し、その中で環境について学ぶことを提案している。STEAM教育の中で位置付け、PRしていきたいと思う。
9	八王子市立由木中学校の特別支援学級では、一人ひとりの人格を大事にし、温かい教育をしてくれていた。そのことが保護者に響いたのか、今年は人数が倍に増えたことで、クラス数が2クラスに増えることになったが、教室をアコーディオンカーテンで仕切って2クラスに分けている。聴覚過敏の子にとっては授業に集中ができない状況である。また、大きなホワイトボードを設置するスペースがないなど、設備が整っていない状況である。整備をお願いしたい。	東京都在職中、特別支援教育を担当しており、子ども達の特性が一人ひとり違うことは理解している。現在の対応が正解だとは思っていないので、今日いただいた内容を教育委員会に伝え、何ができるかを一緒に考えたい。八王子で生まれた子ども達が、八王子の学校でしっかり学べるような環境を作っていきたい。
10	京王片倉駅周辺は道路や歩道が狭い。子育てする環境としての安全面から、道幅を広げることに力を入れてほしい。道幅が狭い影響か、運行しているバスのサイズが小さく、ベビーカーで通路を通ることができない。以前住んでいた調布市ではこのようなことはなかった。道幅が広がっても、電柱があるため実質的に道が狭いということもある。対応を検討いただきたい。	具体的に内容をまとめて提案いただき感謝する。担当所管に伝え、検討させる。東京都在職中、電柱の地中化を担当していた。災害時の対応もあり、進めていかなければならないものだと思っている。最低限調布市には負けないようにしたい。八王子に住み続けてほしい。
11	3年前に、JR片倉駅前のスーパーがなくなってしまい、近隣にスーパーがない状況である。また、バス停が駅前になく、バスが利用できないので、自動車がないと買い物に行けない。JR片倉駅北口のロータリーにバスを引き込めば活性化するのではないか。	バスは、市内だけでなく都心の方でも減便になってきている。これはドライバー不足によるもの。そこで、バスの自動運転化に取り組んでいる。事故が発生してしまったが、しっかりと原因を究明し、再開できるようにと思っている。八王子駅南口の桑都の杜へのアクセスにおいても、自動運転のバスを実証実験で運行することを考えている。お話しいただいた課題を解決できるよう進めているので、今しばらくお待ちいただきたい。